

「鶴亀」を謡ってみよう！
舞ってみよう！

NOUGAKU ON TRIAL

初心者のための 能楽体験講座

能楽の謡本は江戸時代、寺子屋の教科書や旅行の案内本としても使われていました。
600年以上広く親しまれてきた「能」の世界を体験してみませんか？

場所：横浜神大寺稽古場（加藤自宅）
市営地下鉄「片倉町」下車徒歩5分

定員：先着5名

講師：加藤 眞悟（観世流能楽師）

参加費：20,000円（全5回）

持ち物：白足袋、扇（お持ちの方）

教材費別途 3,950円（観世流初心本五番綴上巻）



加藤 眞悟 神奈川県平塚出身。日本
大学文理学部哲学科卒業。故二世万三郎
および三世万三郎に師事。観世流準職分。
重要無形文化財 能楽の保持者。
平成26年平塚市ゆかりの番外曲『真田』、
28年に『伏木曾我』を復曲（梅若万三郎監
修）し、「湘南ひらつか能狂言」で初演シテ
を勤める。「真謡会」を主宰して愛好者に
謡と仕舞の指導をしている。昭和33年生

講座内容

日程	お話（30分）	謡の実習（30分）	型の実習（30分）
第1回 7月30日（日） 午後1:00～2:30	■能の歴史	『鶴亀』1 「それ青陽の～ 夥し」マデ	『基本の型』1 カマエとハコビ サシ込み、ヒラキ 角取り
第2回 8月6日（日） 午後1:00～2:30	■能舞台について ■能の分類と 夢幻能の説明	『鶴亀』2 上歌「庭の砂は～ ありがたき」マデ	『基本の型』2 左右、打込、 扇の持ち方のいろいろ、 サシワケ
第3回 8月27日（日） 午後1:00～2:30	■能の音階 ■能のリズム ■台詞について	『鶴亀』3 ワキ「如何に奏聞 ～舞ひ給ふ」マデ	仕舞『鶴亀』1 前半部分
第4回 9月10日（日） 午後1:00～2:30	■役柄と舞について ■序・破・急と 位について	『鶴亀』4 「月宮殿の～ 最後マデ	仕舞『鶴亀』2 後半部分
第5回 9月24日（日） *午前10:00～11:30	■「鶴亀」の ビデオ鑑賞 ■型の説明と 鑑賞のポイント	『鶴亀』5 全体	仕舞『鶴亀』3 全体



ご希望者は11月3日（祝・金）真謡会の発表会（横浜能楽堂舞台）に参加できます！

■申込み・お問い合わせ：（お名前・連絡先・テキストの有無を添えてお申込みください）

加藤眞悟（電話&FAX 045-481-8704） 加藤眞悟公式サイト <http://katoshingo.com>

*日程は公演などの都合により変更する場合がございます。